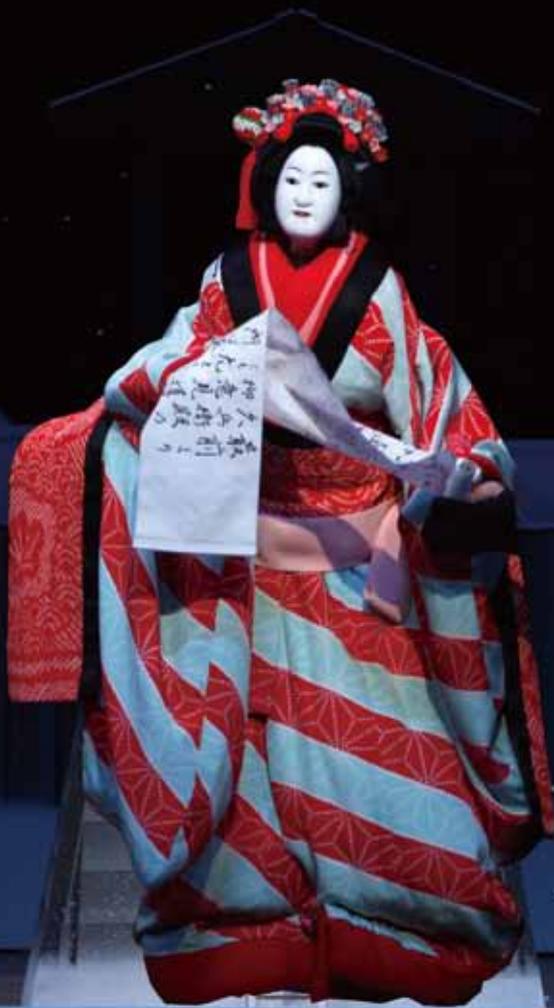


ユネスコ無形文化遺産

文楽をもっと知ろう！

文楽の解説、体験、ミニ公演



伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段
© 国立文楽劇場

日時 2014年 **3月29日** (土)

《第1部・第2部入替え制》

第1部 13:00～14:00 (対象:小・中学生とその保護者)
第2部 15:00～16:00 (対象:一般)

※小学生は必ず保護者同伴でお越しください。

会場
参加費

堺市博物館ホール
人形浄瑠璃 文楽座
無料

★申込方法は裏面へ

主催：堺市 協力：公益財団法人 文楽協会

プログラム（第1部・第2部入替え制）

第1部 13:00～14:00（対象：小・中学生とその保護者）

- ① 太夫と三味線の解説
- ② 人形の解説と体験
- ③ ミニ公演：伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段
だて むすめこいのひがのこ ひ みやぐら だん

第2部 15:00～16:00（対象：一般）

- ① 三業（太夫・三味線・人形）の解説
- ② ミニ公演：伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段
だて むすめこいのひがのこ ひ みやぐら だん

お申し込み方法

FAX、電子メール又は往復はがきに、次の①～③の該当する事項を明記の上、堺市博物館 無形セミナー係へ

- ①参加希望者全員（1通につき4名まで）の住所、氏名（ふりがな）、電話・FAX番号
 - ②希望の部（第1部 又は 第2部）
 - ③小・中学生の学年（第1部のみ）
- ※小学生は必ず保護者同伴でお越しください。

■ 締 切

2014年3月23日（日）必着

■ 定 員

第1部・第2部 各100名

- ◎応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
- ◎ご応募いただきました全員の皆さまに、参加の可否をご連絡いたします。

■ アクセス

- ◎JR阪和線・関西空港線「百舌鳥（もず）」駅下車徒歩6分
- ◎南海バス「堺市博物館前」下車 徒歩4分

★人形浄瑠璃文楽について★

人形浄瑠璃文楽は、日本を代表する伝統芸能の一つで、太夫・三味線・人形が一体となった総合芸術です。その成立は江戸時代初期にさかのぼり、古くはあやつり人形、そのうち人形浄瑠璃と呼ばれています。竹本義太夫の義太夫節と近松門左衛門の作品により、人形浄瑠璃は大人気を獲得し全盛期を迎え、竹本座が創設されました。この後豊竹座をはじめいくつもの人形浄瑠璃座が盛衰を繰り返し、幕末、淡路の植村文楽軒が大阪ではじめて一座が最も有力で中心的な存在となり、やがて「文楽」が人形浄瑠璃の代名詞となり今日に至っています。

2008年にユネスコの無形文化遺産の代表一覧表に記載されました。

■ミニ公演：「伊達娘恋緋鹿子」あらすじ

このお話は、江戸時代に起きた大火事で家が焼け、お寺に避難していた八百屋の娘お七が、お寺にいた少年と恋をして別れるのがいやでまた火事をおこそうとして捕まり、重い罪に問われたという本当にあった事件をお芝居にしたものです。

今回のミニ公演では、このお話の一部「火の見櫓の段」をご覧ください。

堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802

堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内

TEL 072-245-6201

FAX 072-245-6263

E-mail hakugaku@city.sakai.lg.jp

URL <http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan>

ハロー・ミュージアム

TEL 072-244-9898

（博物館の展覧会などを24時間ご案内）



堺市博物館公式キャラクター
サカイタケルくん

©YABUCHI Satoshi

